

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

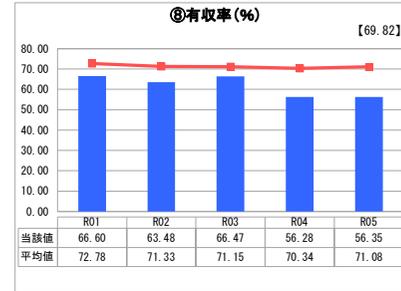
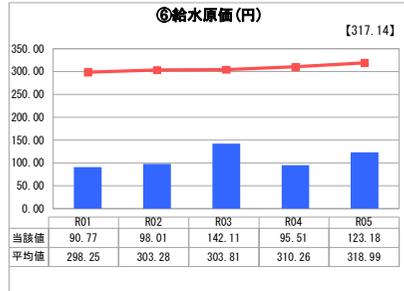
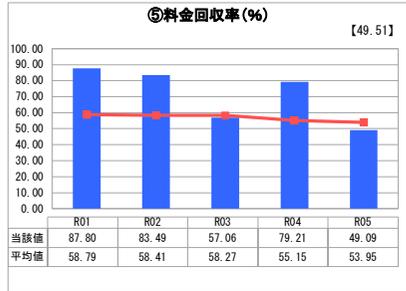
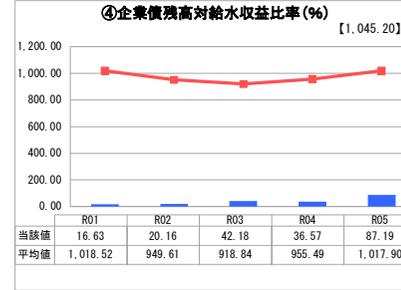
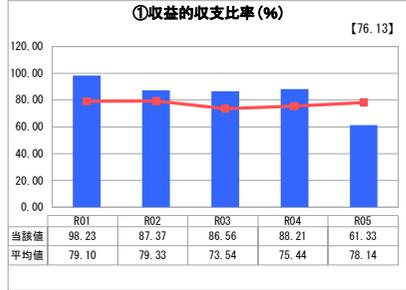
群馬県 川場村

業種名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	99.51	1,320	

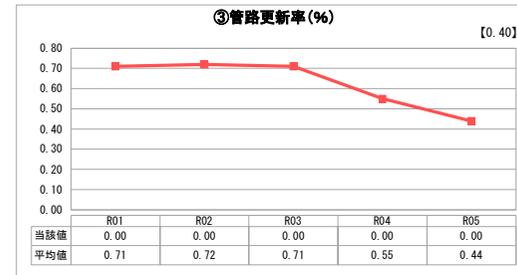
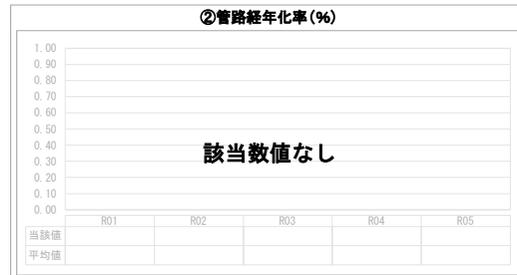
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,066	85.25	35.96
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,070	62.20	49.36

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和5年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

令和6年度より地方公営企業法適用に伴い、当年度は打切決算となった。よって令和5年度第4期分料金（令和6年4月1日納期・口座振替日）約916万円が未収となったことが、全体的に影響している。  
 料金設定が低額であるため、供給単価が給水原価の約1/2となり、料金回収率が約50%となっている。施設利用率も約50%であるため、供給量の見直しを検討していきたい。  
 公営企業法適用債発行により、企業債比率は上昇してきている。建設改良における費用は自己財源に行っているが、有収率向上のため漏水調査を行い管路更新を実施していくようにしたい。

### 2. 老朽化の状況について

管路・施設とも老朽化が進行し、更新費用は今後増加していくものと見込んでいる。  
 近年では、耐用年数や老朽化の進行具合により優先順位をつながら施設設備更新を行い、機械器具の交換や修繕を実施しているところである。  
 一方で管路更新や漏水調査に充てる費用が捻出できないため、老朽化による破損・修繕が増加し、有収率にも影響を及ぼしており、管路更新は喫緊の課題となる。  
 今後の更新を見据えた料金改定と、管路更新を行うことが、喫緊の課題である。

### 全体総括

管路・施設とも老朽化が進行し、更新費用は今後増加していくものと見込んでいる。  
 有収率改善のため、漏水調査を行い、漏水対象管路を優先的に更新していく。  
 財源確保に向け、今後の更新と人口減少を見据えた経営戦略を令和7年度に策定し、料金改定を行い、管路更新に努めていく。